

統計から見た県民のスポーツ行動

(社会生活基本調査結果に基づく)

平成 30 年 6 月

三重県戦略企画部統計課

『スポーツは人生を豊かにし、私たちに幸福を実感させるものである』

平成 27 年 4 月 1 日に施行された「三重県スポーツ推進条例」の前文冒頭の一節です。県では、この条例に基づき、子どもの体力の向上及びスポーツ活動の充実、地域におけるスポーツ活動の推進、競技力の向上、障がい者によるスポーツ活動の推進、スポーツを通じた地域の活性化といった政策に取り組んでいます。

こうした中、いよいよ来月から開催の全国高等学校総合体育大会をはじめ、平成 33 年には国民体育大会及び全国障害者スポーツ大会が予定され、その前年の平成 32 年には東京オリンピック・パラリンピック競技大会と、本県スポーツの推進に大きなチャンスが訪れています。

一方、国も平成 27 年 10 月に「スポーツ庁」を設置（平成 23 年制定のスポーツ基本法（昭和 36 年「スポーツ振興法」を 50 年ぶりに全面改正）附則に基づき設置）し、スポーツの振興に取り組んでいます。

そこで、今回、平成 28 年に実施された 5 年周期調査の「社会生活基本調査 生活行動に関する結果」に基づき、県民の「スポーツ行動」について、全国比較や前回調査（平成 23 年）との比較等の分析を行いました。

県民の「スポーツ」行動 （総務省「平成 28 年社会生活基本調査」による）

○平成 28 年社会生活基本調査について

- ・指定する調査区（全国で約 7,300 調査区）内にある世帯のうちから、無作為に選定した約 8 万 8 千世帯に居住する 10 歳以上の世帯員約 20 万人を対象に平成 28 年 10 月 20 日現在で実施。（全国の標本数は 179,297 人、三重県の標本数は 3,538 人）
- ・「スポーツ」は、職業スポーツ選手が仕事として行うものや、学生が体育の授業で行うものは除き、クラブ活動や部活動は含む。

〔用語〕

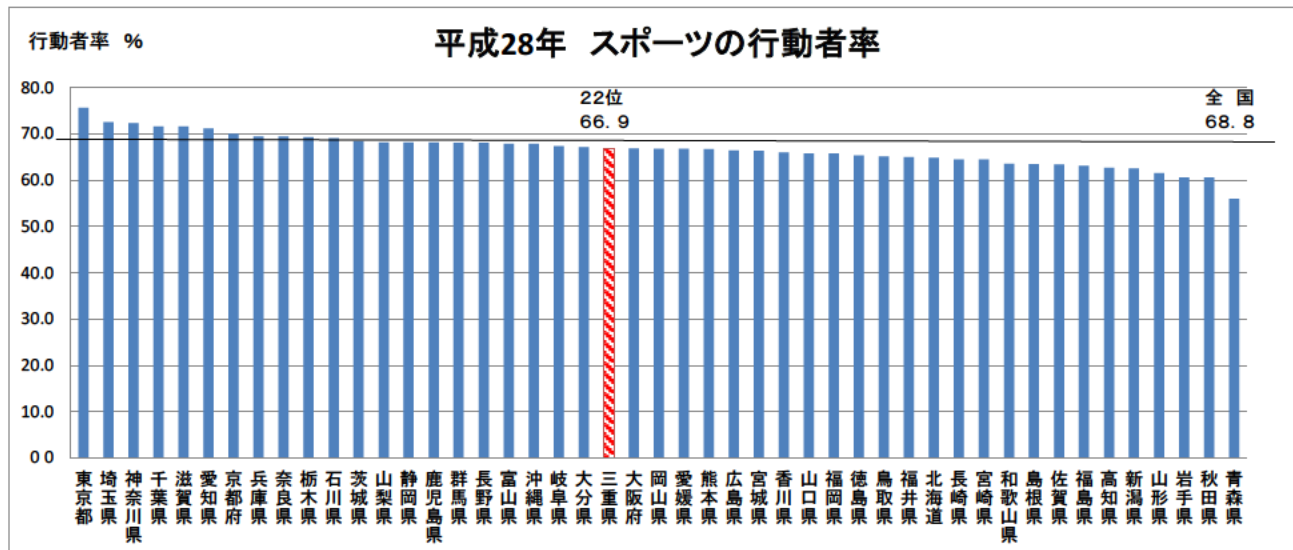
- ・行動者率 … 10 歳以上人口に占める過去 1 年間に該当する種類の活動を行った人の割合（％）
- ・スポーツの種類別行動者率 … それぞれの種類別で活動を行った人の割合であるため、1 人で数種類行った場合はそれぞれの種類の行動者率に反映される。「スポーツ」全体では、1 人で何種類の活動を行っても 1 人として計算される。
- ・行動者 平均時間 … 行動をした人のみについて、1 日の行動時間（週全体平均）をみたもの

1 「スポーツ」の行動者率

平成 28 年の三重県の「スポーツ」の行動者率は 66.9%で、全国平均の 68.8%より 1.9 ポイント低く、全国順位は 22 位となっている。

全国的には大都市を有する都道府県の行動者率が高い傾向にある。(図 1-1)

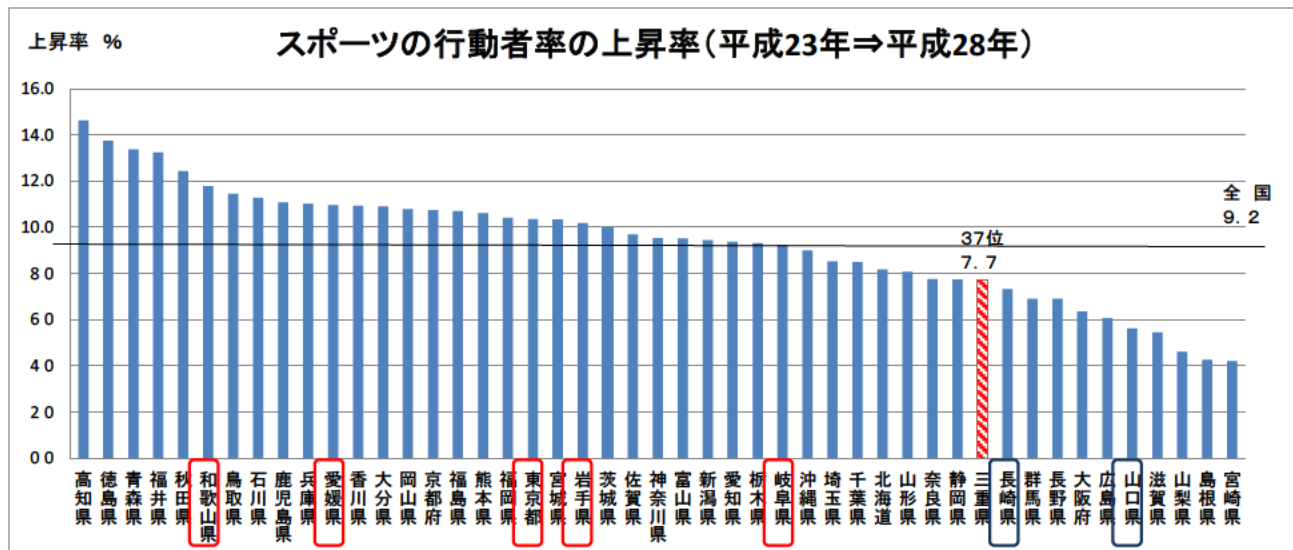
図 1-1



行動者率は、男性が 72.3%、女性が 61.7%で、男性が女性より 10.6 ポイント高くなっている。平成 23 年と比べると、行動者率は 4.8 ポイント上昇している。男性が 4.7 ポイント上昇、女性が 4.8 ポイント上昇している。(平成 23 年 総数 62.1%、男性 67.6%、女性 56.9%)

平成 23 年から 28 年にかけての上昇率は、全ての都道府県でプラスとなっており、三重県の上昇率は 7.7%で、全国順位は 37 位となっている。(図 1-2)

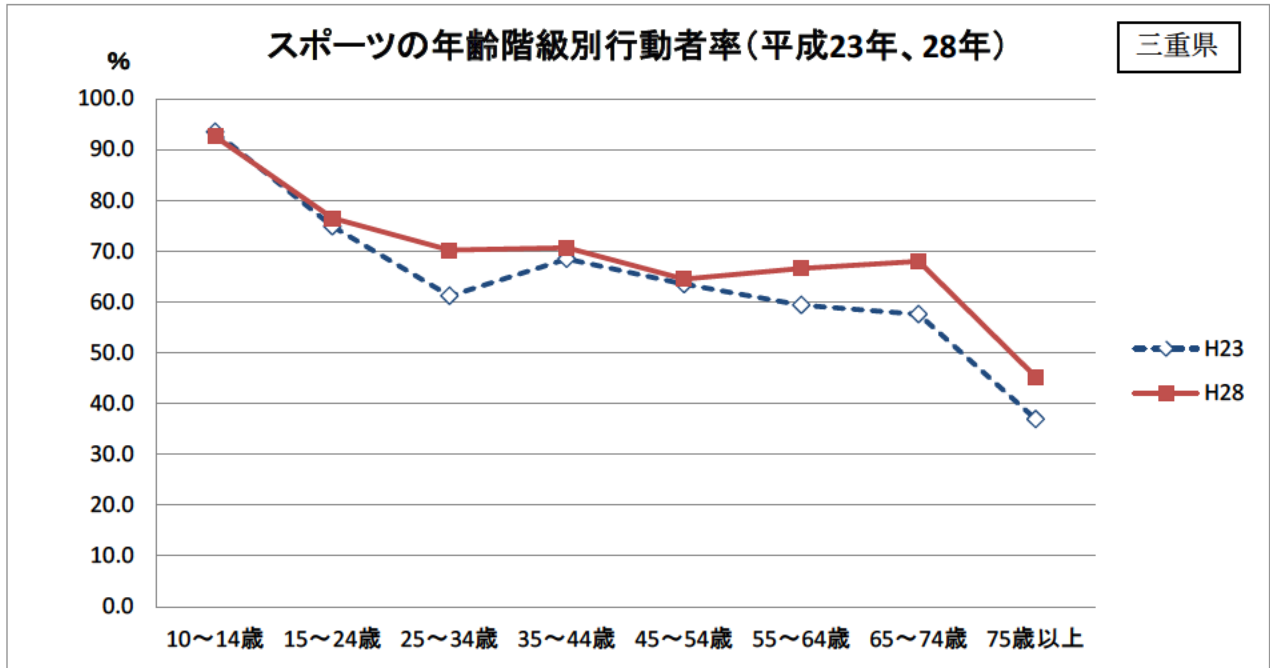
図 1-2



*平成 23 年以降の国体開催 7 都県の上昇率を見ると、5 都県で全国平均を上回っている。

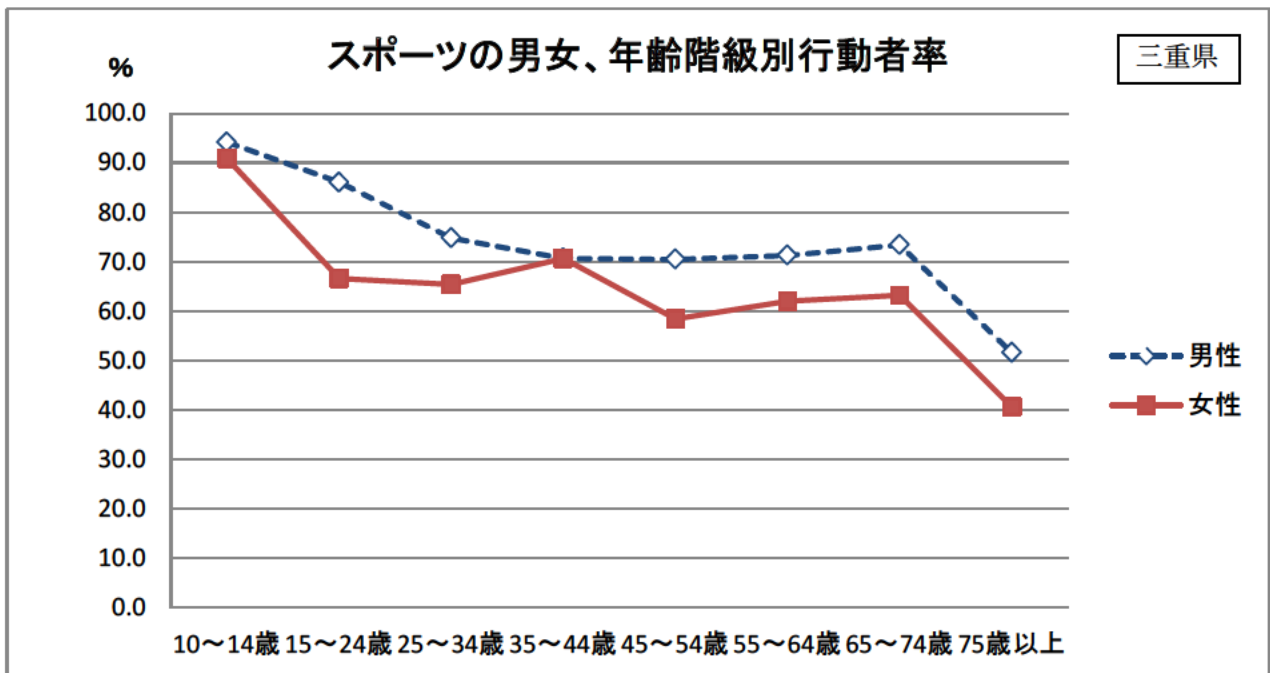
行動者率を年齢階級別にみると、年齢が高くなるにつれておおむね低下している。
 また、平成 23 年と比べると、25～34 歳と 55 歳以上で比較的大きく行動者率が上昇している。(図 1-3)

図 1-3



男女別にみると、35～44 歳を除く階級で男性の方が高くなっている。特に 15～24 歳で差が大きく、他の階級では 10 ポイント程度高くなっている。(図 1-4)

図 1-4

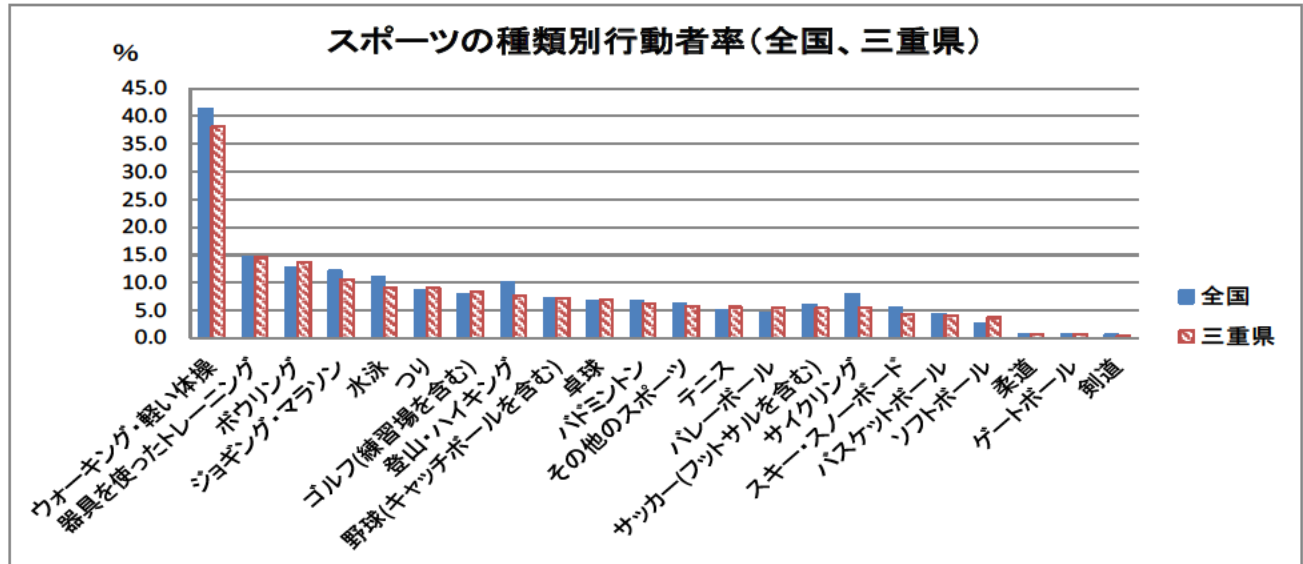


2 「スポーツ」の種類別行動者率

行動者率を「スポーツ」の種類別に全国平均と比べると、「ボウリング」(+1.0 ポイント)、「バレーボール」(+1.0 ポイント)、「ソフトボール」(+1.0 ポイント)等が全国平均より高く、「ウォーキング・軽い体操」(-3.2 ポイント)、「サイクリング」(-2.5 ポイント)、「登山・ハイキング」(-2.3 ポイント)等が全国平均より低くなっている。

(図 2-1)

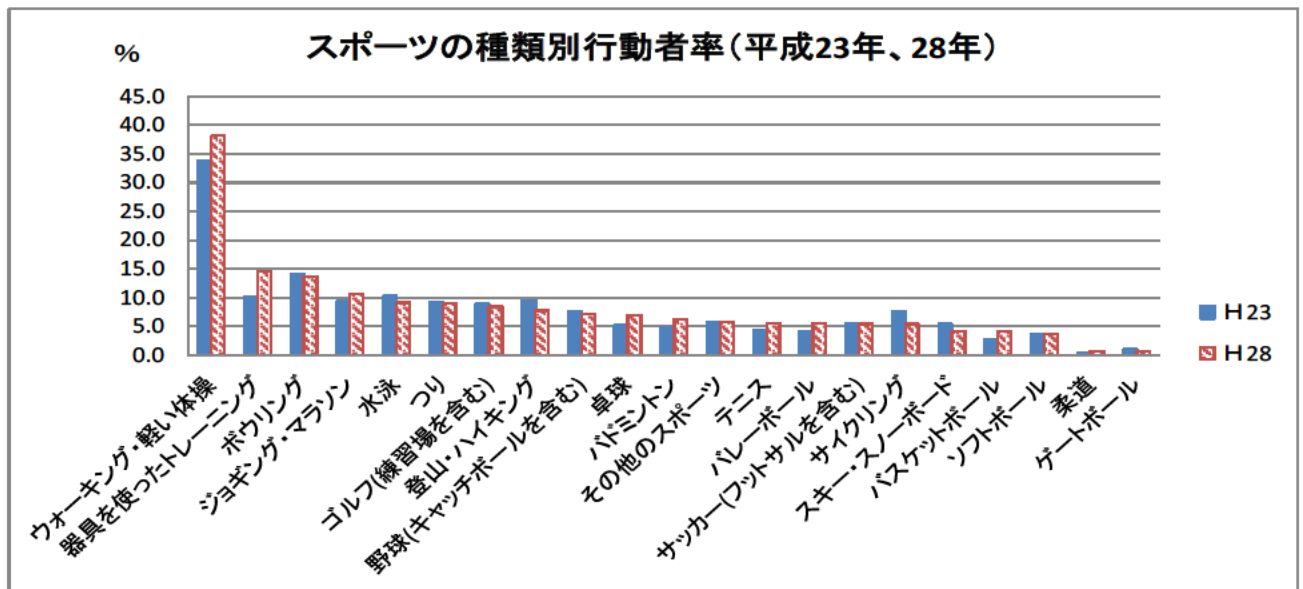
図 2-1



「スポーツ」の種類別に三重県の行動者率をみると、「ウォーキング・軽い体操」が38.1%と最も高く、次いで「器具を使ったトレーニング」が14.5%、「ボウリング」13.7%などとなっている。

これを平成23年と比べると、「ウォーキング・軽い体操」が4.3ポイント上昇、「器具を使ったトレーニング」が4.3ポイント上昇などとなっている。一方、「サイクリング」が2.1ポイント低下、「登山・ハイキング」が1.8ポイント低下などとなっている。(図 2-2)

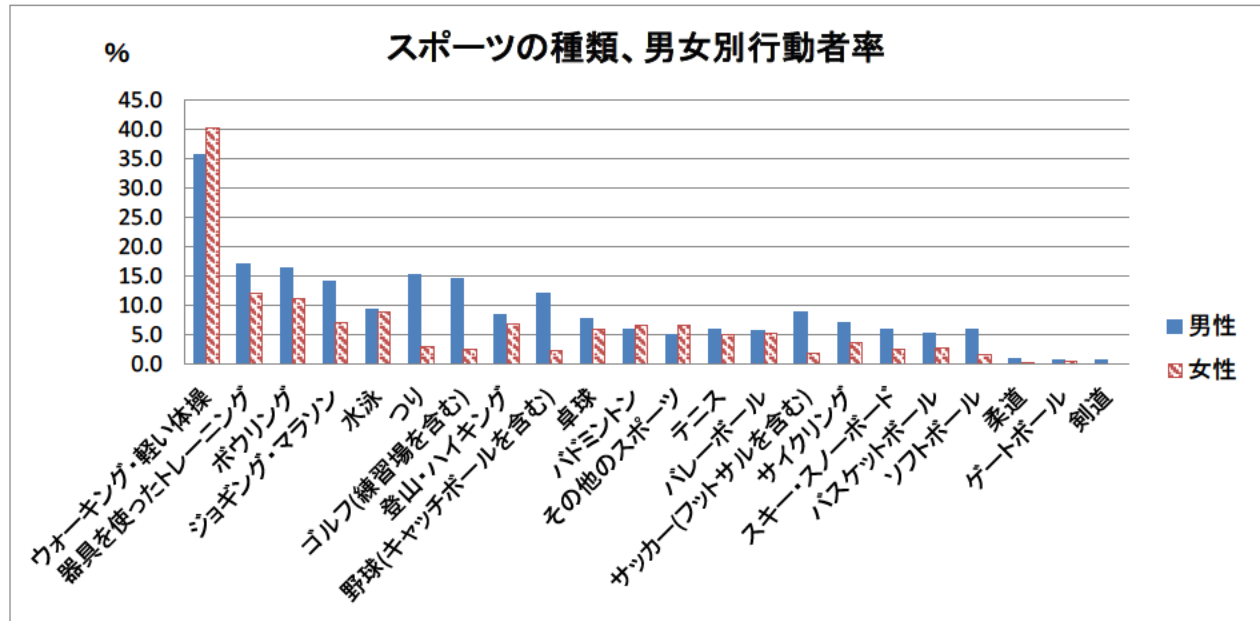
図 2-2



男女別にみると、男女共に「ウォーキング・軽い体操」が最も高く、次いで「器具を使ったトレーニング」、「ボウリング」などとなっている。

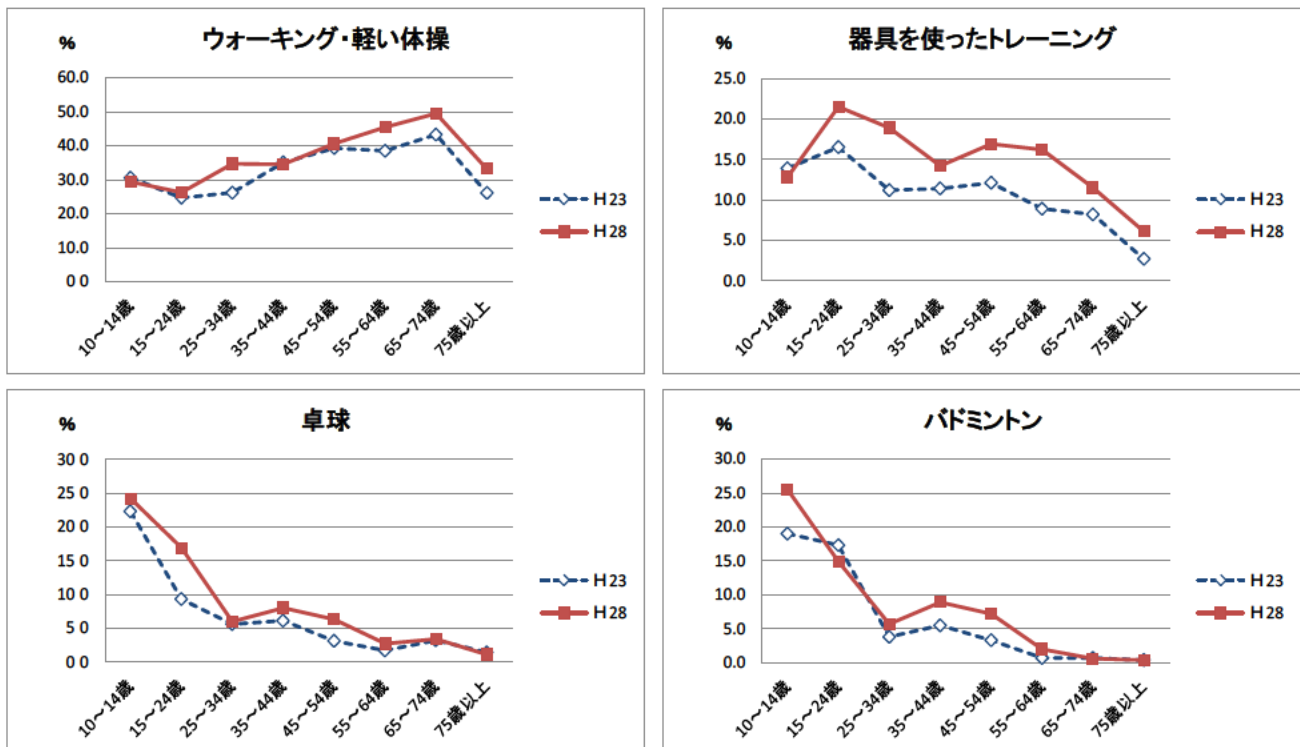
多くのスポーツで男性が女性を上回っているが、「ウォーキング・軽い体操」、「バドミントン」については、女性の行動者率が男性の行動者率を上回っている。(図2-3)

図2-3



行動者率が上昇した主な「スポーツ」の種類について、年齢階級別の行動者率を平成23年と比べると、「ウォーキング・軽い体操」が10～14歳と35～44歳を除く階級で上昇している。また、器具を使ったトレーニングが10～14歳を除く階級で上昇している。(図2-4)

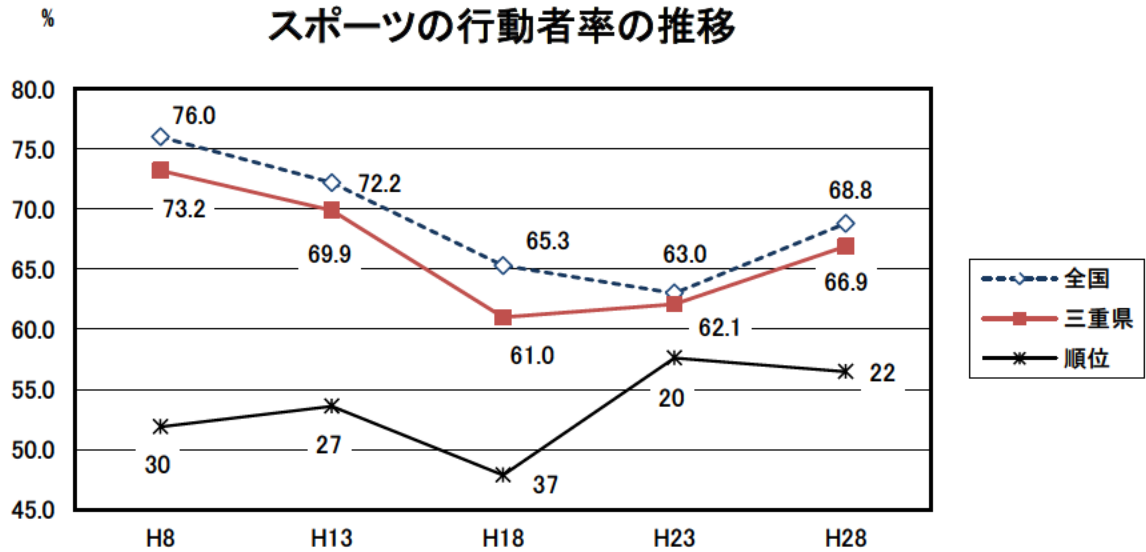
図2-4 行動者率が上昇した主なスポーツの種類、年齢階級別行動者率(平成23年、28年)



3 「スポーツ」の行動者率の年次推移

平成 8 年以降、行動者率は全国的に低下傾向であったが、全国では平成 23 年から 28 年にかけて、三重県では平成 18 年から 23 年にかけて行動率が上昇に転じている。(図 3)

図 3

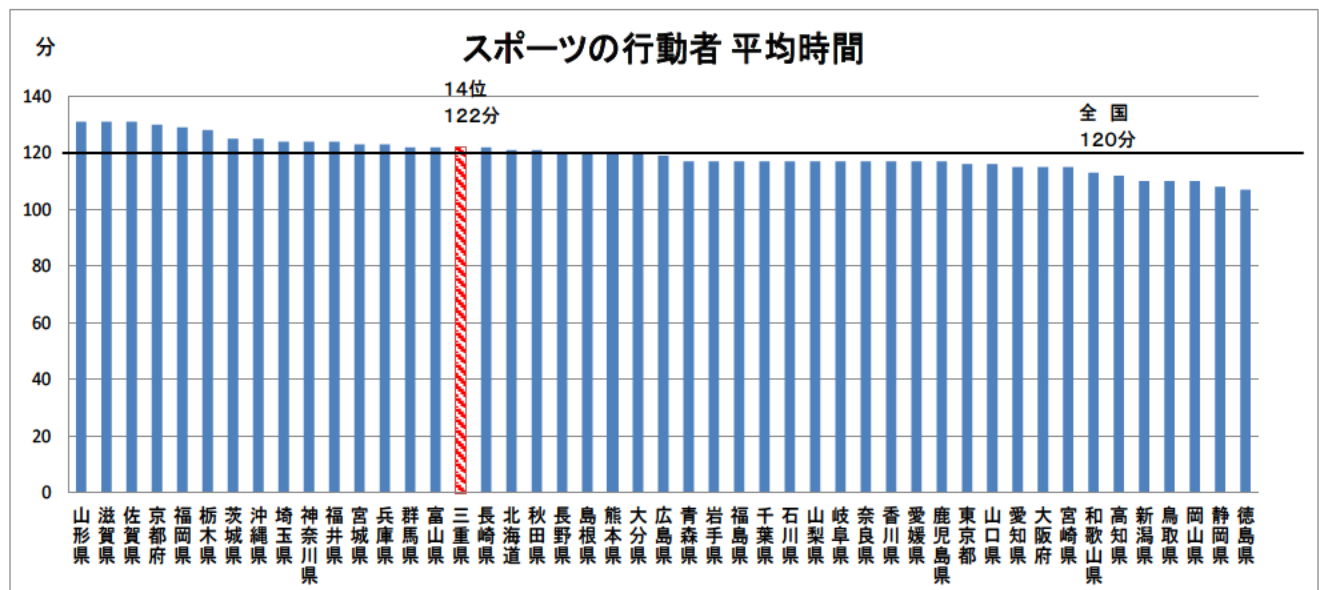


4 「スポーツ」の行動者 平均時間

三重県の「スポーツ」の行動者の週全体の 1 日平均時間は 122 分で、全国平均の 120 分より 2 分長く、全国順位は 14 位となっている。(図 4)

平成 23 年と比べると、行動者の平均時間は 9 分増加している。
(平成 23 年 113 分 全国順位 37 位)

図 4

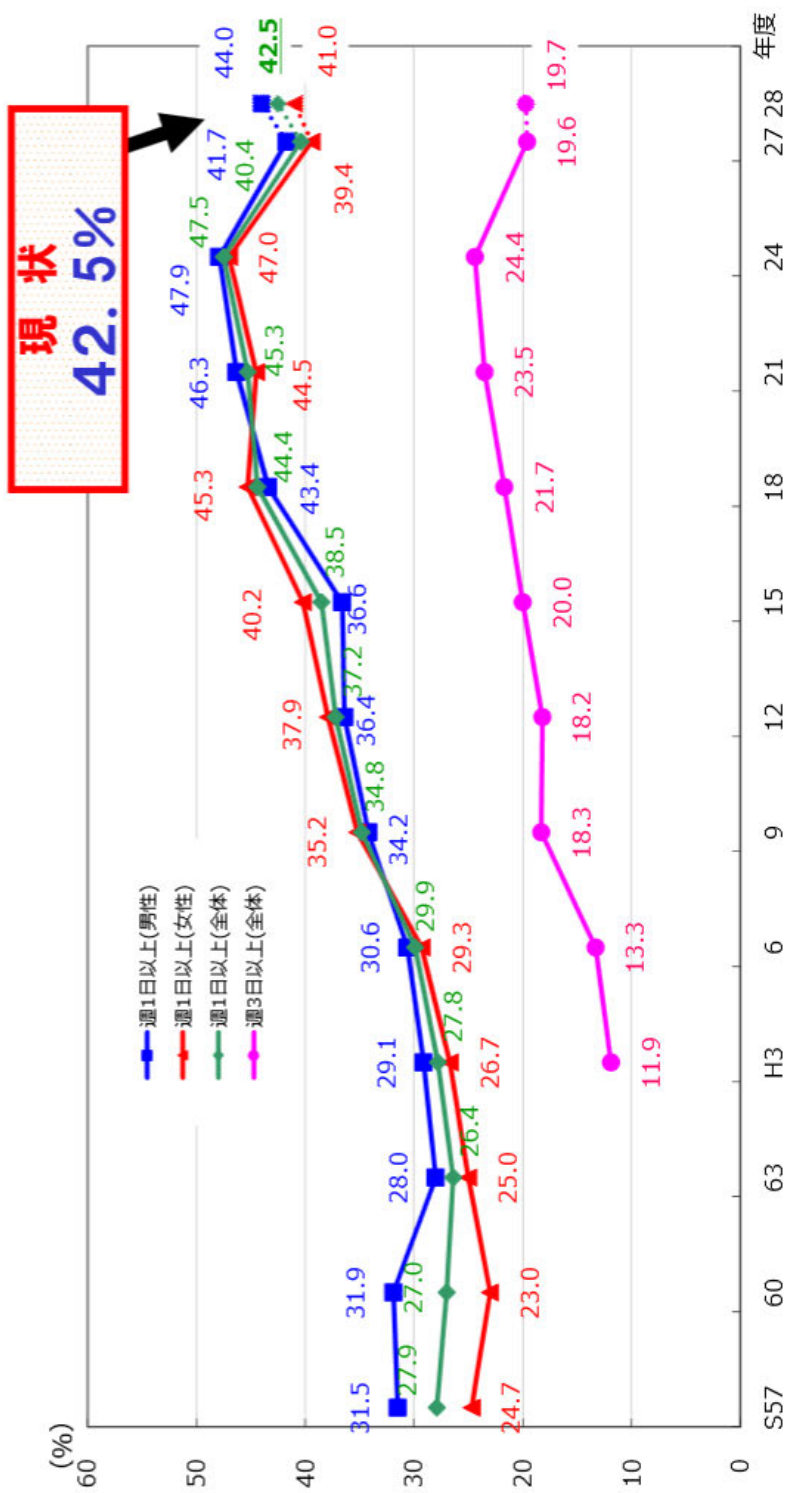


成人の週1回以上運動・スポーツを行う者の割合の推移

○スポーツ基本計画

「成人の週1回以上のスポーツ実施率が65%程度(障害者は40%程度)、週3回以上のスポーツ実施率が30%程度(障害者は20%程度)となることを目指す。」

○成人の週1回以上のスポーツ実施率は42.5%、週3回以上の実施率は19.7%である(平成28年度)。



(出典)「体力・スポーツに関する世論調査(平成24年度まで)」及び「東京オリンピック・パラリンピックに関する世論調査(平成27年度)」、「スポーツの実施状況等に関する世論調査(平成28年度)」

<参考> スポーツの実施状況等に関する世論調査（平成 29 年、スポーツ庁）

